

人つれづれ

街づくりのあり方

二十年ほど前から都市づくり、街づくり、村おこしなど住民サイドからボランティア的な活動が活発になり、百花繚乱(りょうらん)の提言がなされている。が、住

岡山市の場合、都心部の街づくりをどうするか、が課題になっている。日本たばこ産業(JTI)とNTTの子会社が市中心部に店舗ビルを建てることになった。ともに岡山市の立地的優位性を見抜いて大規模小売店舗を出店さ

私の所属する街づくりリグループは親水性のある公園として、西川緑道公園と下石井公園を一体的に把握して札幌の大通り公園のような大衆公園にすべく立案・企画中でもある。一方、岡山市当局はもっとしっかり都市づくりに取り組むべ

さなければ、仙台駅前のようなだれが見ても立派だと感動するような駅前玄関口にはならぬ。県は平成十七年の国体開催に向けて「都市景観・建築文化の十年」事業を始めた。優れた都市デザイン、建築デザインを後世に残そうとい

う、遠大な事業である。市は県とも打ち合わせ、かつ連携を取りあって駅前のランドデザインに全力を投入すべきだ、と考える。

住民を主体に考える時期だ



不動産鑑定士 馬場 勉さん

ばば・つとむ 岡山市生まれ。1977年から岡山市内で「馬場総合鑑定所」を経営。54歳。岡山市大

入すべきだ、と考える。街づくりは、住民による住民のための計画を地域の住民が中心になって考えなければいけない時期に来ている。そのためには、行政と住民が街づくりについて十分に話し合うための場をつくらねばならない。

例えば、大きくは都市計画から、小さくは街角の大規模小売店舗の立地に至るまで守備範囲が広い。ただ、通常は一定の区域をどのように景観をデザインし、かつ建築デザインをしたらよいかという街づくり構想が中心課題である。

せる。将来的には、岡山駅、高島屋、ビブレ、JT、下石井公園、NTT、天満屋、シンフォニーホール、後楽園へと歩いてショッピングを楽しみながら回遊出来るようになるかもしれない。民活による都心部の活性化が期待される。

きだと思う。例えば、岡山駅前の再開発で「市が区画整理事業を行いますから後は建物を建てて下さい」というような消極的なアプローチではなく、地権者は限られた大手企業だから駅前に入すべし、と考える。

この欄への投稿をお待ちしています。身辺雑感や、研究内容、グループ紹介など、自由に書いて下さい。字数は千二百字程度。趣旨を変えない範囲で直すことがあります。住所、氏名、年齢、職業、電話番号に顔写真を添えて、〒700 岡山市野田屋町一の一の二、朝日新聞岡山支局「人つれづれ」係へ。掲載分は、朝日新聞データベースのH.I.A.S.K.でも提供します。

コーディネーターが必要になる。行政が街づくりについては専属的にすべて決定するというのは発想はすでに過去のものだ。いずれにせよ、岡山市の個性を生かした街づくりを目指して「晴れの国の住みやすい街」から「住みたい街」に変えていか